

# Game Report

開催場所：九州共立大学 鶴鳴記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 11 日(日)

試合時間：10:40~

主審：川原 禎仁

副審：藤城 真理

東海大学九州	○ 7 8	23	—1st—	14	● 6 8	福岡大学
		18	—2nd—	17		
		20	—3rd—	20		
		17	—4th—	17		

## 第 1 ピリオド

開始早々、東海大はパッシングから # 1 4 小澤の 3 P シュートで先制。福岡大は # 3 9 野口佳、# 4 1 野口芙のインサイドプレーから、オフェンスのリズムを作る。東海大 1 年生 # 7 0 松本はパッシングを徹底、ディフェンスの遅れの間隙を突き # 7 7 赤坂が 3 本の 3 P シュートを決め福岡大を突き放し、23-14 の東海大リードで第 1 ピリオド終了。

## 第 2 ピリオド

流れを掴みたい福岡大は # 4 1 野口芙、# 5 1 中野を中心にボールを集め得点を重ねる。中盤、東海大は # 1 0 井上がポストアップから仕掛け連続得点。互いにインサイドでの得点が増える中、福岡大 # 1 5 小森園がマークを外し、バスケットカウント。勢いが出てきた福岡大に対し、東海大 # 1 4 小澤は冷静な判断でバックカットを狙うパス、3 P シュートを決める。福岡大は、東海大の得点を抑えるためチームでボックスアウトを徹底し、# 4 1 野口がリバウンドを取る。追い上げの兆しが見えた福岡大、41-31 東海大リードで後半を迎える。

## 第 3 ピリオド

東海大は # 8 金子、# 9 豊田のリバウンドからセカンドブレイクで得点、# 1 4 小澤のレイアップで福岡大の追従を許さない。きっかけが欲しい福岡大は、ゾーンプレスを仕掛け、# 2 8 藤井、# 4 2 大槻が前線で粘り、相手のミスを誘う。中盤、福岡大はブレイクから # 5 1 中野が連続 3 P シュートを決める。終了間際、東海大 # 1 4 小澤がゾーンを突破し得点を繋げるが、残り 6.8 秒、ゾーンに捕まった東海大 # 0 岩崎が痛恨のアンスポーツマンライクファウル。61-51 と互いに点の取り合いになり、東海大 10 点のリードは変わらず第 3 ピリオド終了。

## 第 4 ピリオド

福岡大は再度 # 3 9 野口佳、# 5 1 中野にボールを集めインサイドで連続得点。東海大は # 1 0 井上、# 8 金子がポストプレーに合わせ、アウトサイドで待ち構えていた # 1 4 小澤、# 7 7 赤坂が 3 P シュートを決める。福岡大はゾーンプレスを継続し逆転を狙いプレッシャーをかける。しかし、東海大 # 1 4 小澤のドライブ、# 1 0 井上のインサイドからの合わせに対応することができず、点差が縮まらない。焦る福岡大に対し、東海大は時間を使い確実に得点を重ね、最後まで逆転を許さず、78-68 で勝利した。